

野田市農産物直売所指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時	令和2年2月3日（月）午前10時から午前10時35分まで
開催場所	野田市役所5階 512会議室
出席委員	副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、自然経済推進部長、管財課長
欠席委員	行政管理課長
事務局	農政課、行政管理課

1 開会

<委員長から開会の言葉>

2 議事

令和元年度（4月～12月）野田市農産物直売所業務報告書及び令和2年度野田市農産物直売所業務計画書の審査について

<事務局から令和元年度（4月～12月）野田市農産物直売所業務報告書及び令和2年度野田市農産物直売所業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書1ページの魅力ある商品の開発について、令和元年度新たに開発した商品があれば教えてほしい。
 - 売れ筋商品であるまんじゅうの皮部分にブドウエキスを混ぜ込み、ほのかな風味と鮮やかな色味を加えた新商品を販売した。
- 評判はどうだったか。
 - 評判は良かった。産業祭でPR販売したところ、そちらを買う人が多かった。
- 業務報告書2ページの個人情報保護のための取組について、「文書化された個人情報」は、全て鍵のかかるロッカーに保存し、店長がこれを管理する」とあるが、複数の店長がいる中で鍵の管理はどのようにしているのか。
 - 現在、店長は2交代のローテーションで勤務しており、交代時には勤務時間を重複させる等してしっかりと引継ぎができるように配慮しており、鍵の管理も含めて、抜け漏れなく引継ぎができるように対応している。
- 業務報告書3ページの緊急時の危機管理への取組状況について、品質管理として「停電が実施された場合を想定して、冷凍食品や農産物加工品などの品質保持を念頭に、陳列ケースの温度管理を検討した」とあるが、具体的に教えてほしい。
 - 一定時間の停電を想定して、品質保持温度を超えないように、通常よりも5度程

度低い温度に設定している。また、冷蔵庫ショーケースには、停電時にのれんをすることで、商品の品質が極力長い時間保持されるように対応している。

○ 通常の閉店時にはのれんはしているのか。

→ 通常の閉店時ものれんはしている。

○ 業務報告書4ページの収支の見込みについて、収支差引額の処分はどうするのか教えてほしい。

→ 基本的には、今後起こりうる様々な変化に対して耐えうる資金を確保するために、経営状況と併せながらプールしている。

来年度は、利用者に還元すべくイベント費として使用するように考えている。全ての内容は、経営状況を見ながら毎月行われる理事会の中で協議して決定している。

○ 業務報告書8ページのPOS情報の活用について教えてほしい。

→ 日々の売上状況を把握し、適正な在庫管理に活用している。また、季節毎の商品売上数順位等を分析し、必要な時期に十分な量の商品が確保できるように調整することにも活用している。

○ この情報の活用は店長が行うものか。

→ 基本的には、店長が中心となって行っている。

○ 業務報告書8ページの人員配置について、店長が6人もいるが、店長間の引継ぎは十分に行われているのか。

→ 店長は2交代のローテーションで勤務しており、交代時には勤務時間を重複させる等して十分な引継ぎができるように配慮している。

○ 業務報告書10ページの事故、要望又は苦情の対応状況について、再発防止策を教えてください。

→ 店内での掲示による周知及び月1回行われる理事会及び各担当部会内で情報共有することで、生産者全体の意識レベルの向上を行っている。実際に生産者が店頭への商品を陳列する際に、他の生産者の不良品を事前に発見する等の抑止効果は出ているものとする。

○ 事例を書面で残しているか。

→ 店内に書面で残している。

○ 仕様は守られているのか。

→ 仕様どおりに行っているが、再度改めて徹底しているか確認する。

○ 業務計画書1ページの宅配サービスの充実や郵便局のネットワークを利用した特産枝豆のPR販売について内容を教えてください。

→ 宅配サービスの充実は、外に出向いて買い物ができない利用者に対して、注文を

受けて商品をお届けするサービスで、現状、商品の取り分け作業や配送作業等の作業負荷が大きい問題があるため、人員や役割を含めて検討している段階である。

郵便局のネットワークを利用した特産枝豆のPR販売は、直売所に来られない利用者へ郵送販売するサービスで、現在行っている。

○ 郵送販売サービスの実績はどうか。

→ 今年度1月末までの販売実績として、件数は301件、販売数は2,046袋であり、最盛期には対応が忙しくなるほど好評であった。

○ 業務計画書8ページの収支計画について、支出でイベント費用が前年度比増加となっているが理由を教えてください。

→ 今年度は、今までのイベント時に準備した備品や材料が余剰在庫となっていたため、上手く消費して適正にした。来年度は、新たに必要備品はまた揃えながら進めていくため、多くイベント費用を設定している。また、理事会の中でも利用者へ還元していきたいとの意見があがっており、それを実現するためにイベント費用を多く設定している。

○ 業務計画書9ページに若手農業者に協力会会員に登録してもらえるような環境づくりを検討するとあるが具体的な内容は出ているのか。

→ 具体的な内容は出っていないが、生産者及び利用者の高齢化は大きな問題として認識しており、積極的に検討を続けている。

<審議の結果>

令和元年度(4月～12月)野田市農産物直売所業務報告書及び令和2年度野田市農産物直売所業務計画書について承認

3 閉会